

## <高校 令和3年度1学期終業式>

今日で1学期が終了します。振り返ってみてどうだったでしょうか。今もなお、新型コロナウイルスの感染は収束せず、結局この1学期も感染防止に神経を使いながらの毎日でした。ワクチン接種もようやく進んで来ましたが、一体いつまでこうした日は続くのか、感染状況でまた何かの変更になったり、中止になったりするのかな、本当に気が滅入る日が続きます。

しかし、一学期を通して君たちはよく挨拶もしていますし、朝早く来たり、夜遅くまで残って勉強している人たちもたくさんいます。部活動も制限のある中で、明るく、元気に、一生懸命練習しています。これから大きな大会に向かう部には健闘を祈ります。また、文化部も9月の文化部発表会での素晴らしい展示・発表を楽しみにしています。さらにここで君たちに公式に発表しますと、これもまた感染状況によりますが、体育祭も縮小して何とか実施したいと思っています。気持ちをプラスにして向かっていきましょう。

さて、この1学期に嬉しく思った話をしたいと思います。2人の先輩のことなのです。たまたま2人とも野球部でした。1人目の話です。青山学院大学から推薦入試で入学して生徒に関する通知が来ました。入学者の成績不良のことは通知で来ることもありますが、わざわざ成績が優秀で、トップレベルの成績であるというお褒めの言葉をいただいたのです。その先輩は、大学へ行ってもしっかりと勉強しているのです。また、國學院大学の野球部の監督とお会いした時に、本校の卒業生の話になりました。監督の話によると、今では珍しいことだそうです。今年入った選手の1人が、いつも自主的に黙々と練習をしている、次のレギュラー、そしてプロへの目標にすでに向かっている、その意識の高さは驚きであると褒めてくれました。

人生というのは理不尽なことがあります。人為的な理不尽でしたら戦っていくことができますが、自然災害とか、今回の新型コロナウイルス感染症のために奪われたことがたくさんあります。学校行事でも修学旅行を始め、君たちが楽しみにしていたことがなくなってしまいました。昨年は、部活動も多くの大会が中止になりました。その中で、甲子園という目標がなくなった2人の先輩ですが、しっかりと気持ちを切り替え次に向かって努力する。努力していたことは決して無駄にはなっておらず、学校で築いた土台が基になってそれがあらゆることに活かされる、それこそが目には見えませんが、高校で頑張ったことの意味であると思います。

ところで、夏休みに入ります。1年生は中学時代と比べて大きな生活の変化があり、必死になって毎日を過ごしているうちに、あっという間に今日を迎えたことと思います。早く起きて、毎日通うこと、部活動など、やっと慣れてきたところかもしれません。しかし、一番大変なことは、中学と高校との勉強の違いだったと思います。まだまだ慣れるのに四苦八苦している人もいるでしょう。それは皆通る道です。当たり前だと思えるようになるまで、君たちの3年後、10年後、未来を見据え、とにかく今やっていることを信じて頑張ってください。2年生は、本格的に進路に向かう時です。まだ3年生ではないから、と考えていては手遅れになります。3年生になったら、さすがに皆頑張るでしょうから、追いついたり差を付けるのは、この2年生、そしてこの夏休みが大切です。そして、3年生、

3年生はここで頑張れなかったら、いつ頑張るのか、そして、この約1か月の頑張りで自分の未来が決まるという覚悟で臨むことです。

それぞれが自分に打ち克つという「強さ」を持ち、自分との勝負に勝って下さい。今まで以上に良い表情で2学期君たちが、登校してくることを期待しています。では、最後に私のメッセージを歌に込め、皆に送ります。画像は長嶋先生に作成していただきました。